



# 先制の先に待ち 構えた“倍返し…”

先制点を挙げた伊勢(右端)  
(撮影：織原祥平)

## 駒澤大学 1-2 桐蔭横浜大学

4月23日 14:00 川口市青木町公園総合運動場

駒大 1 (1-1) 2 桐蔭大  
(0-1)

得点者 (アシスト)

[駒]18分伊勢 (大村) [桐]22分鈴木 (山下)  
[桐]53分浅川 (石川)

### KOMAZAWA

GK②②角井栄太郎(2)  
DF①①須藤皓生(2)  
DF④④宮坂 瑠(4)  
DF③③伊勢 渉(2)  
DF②②熱川徳政(3)  
MF③③小川礼太(1)  
MF⑧⑧桑原 智(4)  
MF⑦⑦大村英哉(3)  
(57分①①金 大生(4))  
MF⑩⑩中原 輝(2)  
(79分①①初芝政弘(3))  
FW⑩⑩吉岡雅和(4)  
FW⑨⑨大谷真史(4)  
(67分②②小口大司(3))

### S U B

GK②②輪島 稜(3)  
DFO①①深見侑生(1)  
MF①①東 史弥(4)  
MF①①大場淳矢(2)

### MANAGER

秋田浩一

### TOINYOKOHAMA

GK①①田中雄大(3)  
DF⑧⑧佐々木俊輝(4)  
DF⑩⑩八戸雄太(3)  
DF②②眞鍋旭輝(1)  
DF②②剣 聖矢(4)  
(83分②②打越大樹(2))  
MF⑥⑥名畑典樹(4)  
MF④④山下優人(2)  
MF①①鈴木国友(3)  
(75分⑨⑨今関耕平(4))  
MF②②イサカゼイン(1)  
(75分⑩⑩佐藤 碧(4))  
FW⑩⑩石川大地(3)  
FW⑩⑩浅川隼人(3)

### S U B

GK②②三浦和真(3)  
DF④④尾崎快斗(4)  
MF⑩⑩末廣浩暉(3)  
MF⑨⑨浅沼大和(3)

### MANAGER

八城 修

[シュート]7:8 [GK]11:9 [CK] 6:17 [直接FK]6:22  
[間接FK]1:2 [主審] 長田 望 [観衆]298人

警告(C) / 退場(S)

[駒]02分宮坂 瑠(c)  
[駒]87分須藤皓生(c)

### 今季2度目の連敗

前期リーグも残すところ2節。9位の駒大は8位桐蔭大との直接対決に挑み、伊勢のヘッドで先制するも逆転を許し2-1で敗れた。

先に試合の主導権を握ったのは駒大だった。強風の中、風上のサイドが功を奏し、サイドのドリブル突破から敵陣奥深くへと攻め込んでいく。試合が動いたのは前半8分。右CKの混戦から大村の“ふんわりした”バックヘディングから伊勢が頭であわせ先制する。伊勢の今季初ゴールで波に乗りたかった駒大だが、前節の敗戦を吹き飛ばす波には乗れなかったようである。その答えは22分に出た。相手に左サイドを突破され、クロスボールを頭で押し込まれ同点弾を献上する。そのあとは両チーム中盤でのボールの奪い合いが続き均衡が保たれたまま前半を1-1で折り返す。迎えた後半、駒大は攻めの姿勢を崩さず、前半以上に敵陣へ攻め込んでいくが、その姿勢が仇となった。後半53分、敵陣でボールを奪われると相手のカウンター気味のパス交換でDF陣の組織が崩れ、そのままキーパー角井との1対1を押し込まれ逆転を許す。

逆転を許した駒大はその後も攻めの姿勢を崩すことはなく右SBの熱川のロングパスを起点に吉岡や途中出場の金がサイドから攻めあがっていくものの決定機を演出するには至らず。後半一番の決定機は73分、中盤の吉岡のスルーパスから中原が相手DFの裏へ抜け、シュートを放つが、ゴールポストの上を超えていった。結局最後まで相手ゴールネットを揺らすことはできず、試合終了。8位争いは桐蔭大に軍配が上がった。

試合は終始強風が吹き荒れ、ロングパス主体の駒大にとっては精度に悩まされる状況となった。しかし、クロスやシュートの精度に難を抱えていたのは「前節と一緒」(秋田監督)である。

「自分たちの弱さが出てしまった。この結果を自分事として受け止めることが今は一番大事。駒大のプレーをもう一度見直さなくては」と試合後唇をかみしめたのは大谷真史である。今駒大に必要なのは次節へ向け今一度“自身”を見つめなおすことである。

(柴崎拓見)